

## 2. 経営方針

### (1) 経営の基本方針

当社は、一昨年8月の美浜発電所3号機事故により大きく損なった信頼を回復すべく、「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」との社長宣言のもと、再発防止対策の確実な実施と安全文化の再構築を、社会のみなさまに固くお約束し、その達成に向け、日々努力いたしております。

再発防止への取り組みにつきましては、本年3月、経済産業大臣から一定のご評価を頂き、5月には、福井県および美浜町から、運転再開についてご了承を賜うることができました。

また、9月21日から、美浜発電所3号機を試験的に起動し、発電した状態での健全性を確認するとともに、10月3日に再び停止し、その後、設備全体の点検を行い、問題のないことを確認いたしました。

来年年明け後の本格起動を準備いたしておりますが、今後とも、全社をあげて、安全最優先の事業運営体制の構築に取り組むとともに、CSR（企業の社会的責任）を軸に組織風土にまで踏み込んだ改革を積極的に進め、社会のみなさまから再びご信頼を賜うことができますよう、より一層努めてまいります。

一方、現在、わが国経済、関西経済は、ともに回復基調にありますが、エネルギー間競争の激化など、当社を取り巻く環境はますます厳しくなっております。こういった環境の変化にも適切に対応しながら、安定してお客さまに電気をお届けするという当社の使命を、今後、しっかりと果たしてまいりたいと存じます。

そのため、当社は、安全を最優先に、中長期的な視点に立って、エネルギーセキュリティの確保や地球環境保全に努めるとともに、お客さまにご満足いただける最高のサービスをお届けするなど、当社グループ経営ビジョンに掲げた「お客さま満足No. 1企業」をめざして、さまざまな事業活動に取り組んでおります。

本年度につきましては、「平成18年度関西電力グループ経営計画」に「安全最優先の組織風土の醸成」、「グループ一体となったお客さま価値の創造」および「人の成長、技術力の向上」の3つをアクションプランとして掲げ、鋭意取り組んでいるところでございます。

例えば、経営層および従業員一人ひとりが、常に安全確保を最優先に行動するのはもとより、リスク管理委員会を設置して、事業活動に伴うリスク評価や管理を着実にを行い、内部統制システムの実効性を高めるなど、適正な業務遂行を支える取組みを進めております。

また、すべての活動の原動力である人の成長、技術力の向上を図り、事業活動の基盤を確固たるものにすべく、今後とも努めてまいります。

そして、お客さまに最適なエネルギーサービスを提供する総合エネルギー事業をはじめ、情報通信、生活アメニティ、海外など、いろいろな事業分野で、関西電力グループの総合力を発揮して、お客さまや社会の発展に貢献するとともに、グループの持続的な成長をめざしてまいりたいと存じます。

アクションプランで掲げた取組みを確実に遂行することにより、関西電力グループは、グループ一体となって持続的な成長を図りますが、一方で、成長を支える財務基盤の強化にも注力していかなければなりません。

そのため、財務体質強化のための指標として、連結自己資本比率および連結有利子負債残高の2つを掲げ、これを確実に達成することにより、財務体質の強化に取り組んでまいります。

連結自己資本比率	30%程度（平成19年度末目途）
連結有利子負債残高	3.0兆円程度（平成19年度末目途）

## （2）利益配分の基本方針

当社は、長期的な視点に立って株主価値の増大をめざしてまいります。すなわち、競争時代にある電気事業において、安全の確保を最優先とした上で効率化を推進し、競争優位を確保できる料金水準を維持しつつ、財務体質の強化を図ってまいります。したがって、安定配当を維持しつつ、株主価値を持続的に向上させていくことを利益配分の基本方針としております。

なお、内部留保資金につきましては、設備投資および財務体質の強化方策に充当してまいります。

## （3）親会社等に関する事項

当社は親会社等を有しておりません。